

令和四年度 学習院大学史料館 秋季特別展

ある皇族の100年

— 三笠宮崇仁親王とその時代 —

2022年

10.1(土) - 12.3(土)

【開室】月～土曜・11月6日(日) 10:00～17:00

【休室】日曜・11月2日(水)

学習院大学史料館 展示室

(学習院大学北2号館1階)

入場無料

写真「大空と十勝の大地のなかに佇む三笠宮崇仁親王」
昭和25年(1950)撮影【三笠宮家蔵】

ある皇族の100年

—三笠宮崇仁親王とその時代—

大正4年(1915)12月2日、大正天皇・貞明皇后の間に誕生した第四皇男子は、崇仁と命名され、御称号を澄宮、お印は若杉と定められました。大正天皇が皇太子時代に誕生した裕仁親王(昭和天皇)、雍仁親王(秩父宮)、宣仁親王(高松宮)たち兄宮三人は共に“皇孫仮御殿”で養育されましたが、年の離れた崇仁親王は、青山御所内に新たに設けられた“澄宮御殿”で養育されました。その様子は、側仕えの人々が記した「御側日誌」をはじめとする種々の日記や写真に記録されています。大正11年、学習院初等科に入学した崇仁親王は、学習院中等科4年を修了したのち陸軍士官学校へ入学し、騎兵への道を進みました。昭和10年(1935)の成年式に際し三笠宮の宮号を賜り、新宮家を創設。戦前から戦後に至る激動の時代を経たのちは、国際親善などの公務や文化活動に尽力し、また古代オリエント史学者としての生涯を歩みました。

この展覧会では、当館が所蔵する三笠宮家資料や皇族関係資料に加え、今回初公開の日記類や直筆原稿・写真・工芸品など三笠宮崇仁親王ゆかりの品を展示します。大正4年の誕生から平成28年(2016)に薨去するまでの三笠宮崇仁親王の100年に亘る生涯を、皇室文化と併せてご覧いただけます。



①フランス「碑文・文芸アカデミー」外国人会員正服 平成3年〔宮内庁三の丸尚蔵館蔵〕 ②「澄宮殿下御作童謡集」(初版)大正11年発行〔学習院大学史料館蔵〕 ③ヘブライ語のタイプライター 昭和時代〔公益財団法人 中近東文化センター蔵〕 ④振袖(薄黄綾地 鶴破れ花菱亀甲に紅葉藤菊折枝模様) 大正時代〔宮内庁三の丸尚蔵館蔵〕 ⑤「御庭で自働車」大正8年11月15日 ⑥「青山御所でイチゴの御採取」大正12年6月4日 ⑦「キャンディにて、象にのる」昭和31年8月21日 ⑧「タロンガ動物園 コアラを抱いて」昭和46年1月16日 〔⑤～⑧ 三笠宮家蔵〕

関連講座：第95回 学習院大学史料館講座

事前申込制

学習院大学史料館

☎ 171-8588 東京都豊島区目白1-5-1
☎ 03-5992-1173
WEB www.gakushuin.ac.jp/univ/ua
🐦 右記QRコードからTwitterをご覧ください



【講 演】 三笠宮の近現代史 —「童謡の宮様」から「学者皇族」まで—
講 師：舟橋 正真氏 (三笠宮崇仁親王伝記刊行委員会委員)
【鼎 談】 伝記『三笠宮崇仁親王』を語る
登壇者：彬子女王殿下、舟橋 正真氏、伊藤 真実子氏 (同刊行委員会委員)
司 会：田中 潤 (学習院大学史料館EF共同研究員)
【日 時】 2022年10月8日(土)14時～15時30分

申込方法 往復はがき下記項目をご記入の上、講座係宛にお送りください。
往 信 用 ①参加者全員の氏名・ふりがな(1枚につき3名までご応募できます)
②郵便番号・住所(代表者のみ)
③電話番号(代表者のみ)
返 信 用 代表者の宛先
申込宛先 学習院大学史料館「ある皇族の100年」展講座係 *住所は右記となります。
申込締切 2022年9月22日(木)必着
定 員 先着350名(全席指定とさせていただきます)
*締切日前に定員に達した場合、当館HPにてお知らせいたします。

